さいくさ小児科

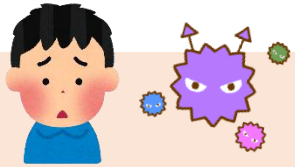
病児保育だより

2026年 9月号

～今月のテーマ～

りんご病（伝染性紅斑）

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「**リンゴ病**」と呼ばれます。



どんな症状？

微熱やかぜの症状などがみられ、その後 7～10 日で両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がります。
これらの発しんは 1 週間程度で消失します。成人では関節痛を伴う関節炎や頭痛などの症状が出ることもありますが、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。
頬に発しんが出現する前の風邪症状の時期にウイルスの排出が最も多くなりますが、発疹が現れた時にはウイルスの感染力もほぼ消失しています。

お盆を過ぎて朝晩は少し秋の風邪を感じるようになったかと思いきや、真夏に引き戻されたような酷暑が続く今日この頃ですがいかがお過ごしでしょうか？
現在流行中の感染症はあまりないですが、まだまだ酷暑は続きそうです。手洗いうがいなどの感染症対策だけでなく、こまめな水分補給など熱中症対策も行いましょう。

治療方法は？

風邪症状に対しては対症療法になります。特に特別な治療法はありません。

妊婦さんはご注意を

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中（特に妊娠早期）に感染した場合、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。伝染性紅斑を疑う症状がある場合は妊婦健診の際に相談しましょう。
周囲に同疾患を疑うひとがいる場合は特に基本的な感染予防を徹底してください。

【８月の病児保育室利用について】
感冒・胃腸炎症状などの
患者さんが利用されました。

さいくさ小児科
病児保育室
0956-39-1005
お気軽にお問い合わせください☺